

2026年度秋学期

応用数学(解析)

第1回

イントロダクション

ー ちょっとかわいい数学を



関西大学総合情報学部
浅野 晃

数学を学ぶこと🤔

数学を学ぶこととは

「問題を解くこと」ではありません

試験では問題を解いてはもらいますが...

大事なのは「わかる💡」こと。

数学の考え方や思想を理解しましょう。

数学の特徴は

抽象化・一般化

微分や積分は、量の変化を調べる。

ー 乗り物の速度🚗

ー 放射性元素の崩壊☢️

ー 気候の変化🌤️

何にでも使えます

「無限」の理解🤔

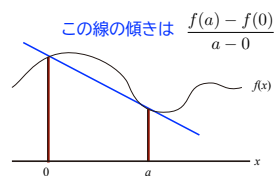
無限と数学

微分・積分は「無限」でできている

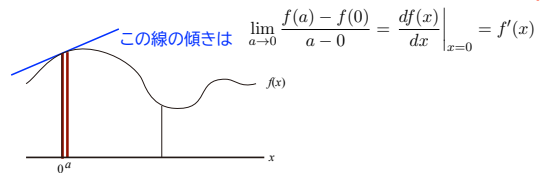
微分は「無限に短い時間での変化」

積分は「図形を無限に細かく分けて面積を求める」

微分とは



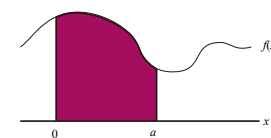
$a \rightarrow 0$
幅を無限に狭く



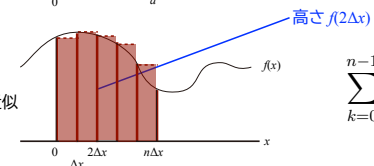
これが微分

積分とは

この面積を
求めたい



幅が Δx の
長方形で近似



$$\sum_{k=0}^{n-1} f(k\Delta x) \Delta x$$

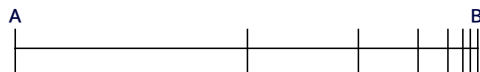
$\Delta x \rightarrow 0$
区切りを無限に細かく

$$\int_0^a f(x) dx \quad \text{これが積分}$$

無限とは、「多い」だけではない

ゼノンのパラドックス

A地点からB地点に行くには、



無限個の2分点を通らなければならないから、永遠にたどり着かない？

数学が、これをどうやって克服してきたかをお話します。

(2分点は無限にあるが、2分点間の距離の合計は「収束」する)

基本的な微分方程式 🤔

微分方程式とは

ふつうの方程式は、解は「数」 $x^2 - 5x + 3 = 0$

微分方程式は、解が「関数」で、その微分が含まれる方程式

x が t の関数(つまり $x(t)$)のとき、

$$\begin{array}{ll} x' = x & \text{関数は「量の変化」} \\ x'' - 5x' + 6x = 0 & \text{微分方程式は「変化の条件」} \end{array}$$

微分方程式を解くと、「どう変化するか 📈」がわかる

基本的な微分方程式

微分方程式は、

特定のパターンのものしか解けない 🤔

基本的なパターンをいくつか紹介します。

微分方程式に関する話題🤔

微分方程式の応用例

放射性原子核の崩壊 ☢️

原子が崩壊して、数が半分になるまでの時間(半減期)は、
いつの時点でも同じ

振動と共鳴 🦋

振動は、運動と反対方向に復元力が働いて起きる
強制力を加えると、振動が無限に大きくなることもある(共鳴)

「その先の解析学」への導入🤔

複素関数とは

複素数とは

$x^2 = -1$ の解は? $i = \sqrt{-1}$ として $\pm i$

複素関数とは

複素数の関数で、値も複素数

これを使うと、

- 三角関数を指数関数で表せる
- 実関数で解けない積分が解ける

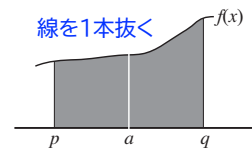
測度論とは

長さ・面積・体積・質量など、いろいろな測り方があるけれど
これらを一般的に「測度」という

「測る」とは何か？

測ることのできる集合とは何か？

積分に対する疑問



この面積は

$$\int_p^q f(x) dx \text{ から}$$

$$\int_a^a f(x) dx \text{ を抜いたもの}$$

幅が0のとき、積分は0だから 面積は変わらない

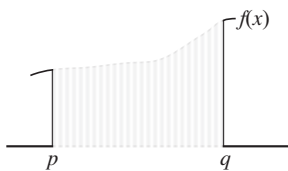


全ての有理数の位置の線を

全部抜いても

本当に面積は変わらないか？

結論だけいえば



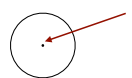
全ての有理数の位置の線を

全部抜いても

本当に面積は変わらないか？

変わらない🤔

「有理数全体の集合」の測度は0



パスタ🍝が「アルデンテ」のとき

芯は「存在する」が、測度は0

最後に、

この考えにもとづいた

「確率」のとらえ方を

説明します

もう一度いいますが

ちょっと、カッコいい数学を。